



航空自衛隊 創設60周年

創設 昭和29年7月1日



JASDF 60th Anniversary



入間基地で行われた記念式典



航空中央音楽隊による60周年記念曲の演奏

5月25日、航空自衛隊入間基地の飛行点検隊格納庫で、航空自衛隊60周年記念式典が盛大に行われた。式典は国歌斉唱から始まり、次いで志半ばでその職に殉じた403柱に対して黙祷、空幕長式辞、防衛大臣訓示と続いた。

齊藤治和航空幕僚長は「60周年は人間の年齢で言うところの還暦に当たりますが、還暦とは「起算点となった干支に戻る」とされ、言い換えれば、不変の原点に戻る時なのだと思えます。この節目にあたり、私共は、不変の原点に立ち返りつつ、自らの役割を十分に果たすための見直しや改革を含む、地道な努力を続けていく事をお誓い致します。航空自衛隊は、仲間である陸上自衛隊及び海上自衛隊と共にがっちりとスクラムを組み、我々が生まれ育ったこの素晴らしい日本、日本の平和と安全を着き大空において守り抜きます。先輩達から受け継いだ良き伝統をしっかりと継承しつつ、より安全でより健全、かつ明朗闊達な空の防人集団として、日々、素々と任務遂行や訓練に邁進し、平和な空を次世代へとしっかりと繋げていく事が、60年という節目に立つ私共にと与えられた使命だと信じます」と述べた。

小野寺五典防衛大臣は「厳冬の僻地や離島などの厳しい勤務環境の中、我が国の空を衛戍として守るという強い決意をもって、24時間、365日休むことなく、緊張感を持って警戒監視を続けている隊員諸君に心から敬意を表するとともに、これまでの成果も生かしつつ、今一度、航空自衛隊に課せられた使命を自覚し、次の60年に向けて一層任務に邁進されることを望む」と訓示した。

正面に向かい右側に、全国73ヶ所全ての基地・分屯基地から最低1人は出席という部隊等代表が並んだ。統制のとれた動作とその音。白手袋をはめた全員の統一された手の動きがとても美しくかった。式典が終わると、場所を航空総隊司令部飛行隊に移し「祝賀レセプション」が行われた。厳粛だった式典とは雰囲気変わり、一気に華やかな雰囲気。招待者らに接待をしながらも、久しぶりに会う仲間・先輩・後輩らと懐かしそうに話に花を咲かせていた。

60周年のために作曲された記念曲、行進曲「青空」(航空中央音楽隊 和田信2空曹作曲)と同じく「風薫る」(航空中央音楽隊 田中裕香空士長作曲)が航空中央音楽隊の演奏により花を添えた。また、入間基地太鼓部「入間修武台太鼓」の逞しい演奏も披露され、招待者らを楽しませていた。



記念レセプション会場入り口



入間基地内の垂れ幕



レセプション会場入り口脇で警備する警備犬

祝賀コンサート



5月24日、入間市市民会館で「航空自衛隊創設60周年記念中央式典 祝賀コンサート」が行われ、航空中央音楽隊(隊長・水科 克夫2空佐)が約1000人を前に演奏した。2部構成になっており第1部は水科隊長指揮による「ホーム・クラシック名曲選」。第2部は、航空中央音楽隊演奏班長の佐藤哲也1空尉による指揮で「なつかしの昭和メロデー」。第1部ではゆったりと聞いていた観客も第2部では、身体を動かして口を動かす姿も見られた。演奏の最後には、観客も一緒に「翼を下さい」と航空自衛隊歌「蒼き空を」を歌うというプログラムにはない演出も。会場が一丸となって「航空自衛隊創設60周年」を祝っていた。

蒼き空を 明日へつなぐ

航空自衛隊60周年のキャッチフレーズ。作成者は、立川にある航空安全管理隊(隊司令・橋本進空将補)の横内秀樹技官。横内技官は、子どもの頃三沢基地航空祭で見た「ブルーインパルス」に憧れ技術技官となった。キャッチフレーズ募集の文字を見た時、「大空を見上げた男の子(多分幼い頃の自分)がブルーインパルスを見ている構図と絆という言葉が浮かんでキャッチフレーズを作ったが、記念ポスターを見た時に、自分の構図に近かった事にビックリした」と言う。



防衛省の上を飛行するブルーインパルス 5月30日

航空自衛隊年表

- 1954(昭和29) 7月1日 防衛庁設置。陸・海・空自衛隊発足
- 1956(昭和31) 3月22日 MDA協定に基づく日米特許権及び技術上の知識交流協定署名
- 3月23日 防衛庁、霞ヶ関庁舎へ移転
- 9月20日 F-86Fジェット戦闘機国内生産第1号機領収
- 1958(昭和33) 1958(昭和33) 航空自衛隊 対領空侵犯措置を開始
- 1959(昭和34) 9月26日 伊勢湾台風において最大規模の災害派遣を実施
- 11月6日 F-104 200機の国産「国防会議決定」
- 11月10日 右記、閣議了解
- 1960(昭和35) 1月11日 防衛庁、樟町庁舎へ移転
- 5月24日 千葉県津波に伴う災害派遣
- 1962(昭和37) 11月1日 防衛施設庁発足
- 1969(昭和44) 1月10日 F-4E 104機の国産「国防会議決定」閣議了解
- 4月10日 「F-4E」国産に関する日米覚書署名
- 1971(昭和46) 7月29日 沖繩防衛隊久保・カーチス取極署名
- 6月30日 全日空機、自衛隊機と衝突(平石)
- 1971(昭和46) 空自XT-2納入
- 1972(昭和47) 4月18日 「自衛隊の沖縄配備」国防会議決定(418閣議報告)
- 1973(昭和48) 7月1日 自衛隊の沖縄防空任務開始
- 1978(昭和53) 9月26日 空自F-1納入
- 12月7日 F-15、P-3C導入「国防会議決定」(129閣議了解)
- 1978(昭和53) 11月27日 航空自衛隊 初の日米共同訓練(三沢東方、秋田西方、121)
- 1979(昭和54) 1月11日 F-2C導入「国防会議決定」
- 1980(昭和55) 8月18日 要撃機のミサイル搭載を開始
- 1983(昭和58) 12月12日 航空自衛隊 初の日米共同指揮所訓練(府中、1215)
- 1985(昭和60) 11月12日 日航機墜落事故、災害派遣実施
- 1985(昭和60) 日航機墜落事故、災害派遣実施
- 1985(昭和60) 国防会議決定、閣議了解
- 1986(昭和61) 2月24日 初の日米共同統合演習「指揮所演習」(樟町・在日米軍司令部等、228)
- 10月27日 初の日米共同統合演習(実動演習)(本州東方・南方等、1031)
- 1987(昭和62) 12月21日 F-1の後継機に関する検討結果を決定、公表
- 1988(昭和63) 12月18日 「洋上防空体制の在り方に関する検討」安全保障会議了承
- 1988(昭和63) 9月20日 国産のT-4中等練習機初納入
- 1989(平成元) 11月29日 F-5X共同開発に関する日米政府間の交換公文及び細目取極署名
- 1989(平成元) 3月30日 新BADGEシステム運用開始
- 1990(平成2) 2月20日 武器技術共同委員会「F-5X関連武器技術 対米供与決定」
- 1991(平成3) 1月25日 沿岸危機に伴う避難民の輸送に関する暫定措置に関する政令(閣議決定)(129公布)施行、419廃止
- 6月28日 UH-60J救難ヘリコプター、初納入
- 1992(平成4) 2月28日 雲仙普賢岳噴火に伴う災害派遣
- 1993(平成5) 4月1日 政府専用機(B-74)防衛庁所屬替
- 1993(平成5) 5月11日 モンペック派遣調整中隊モサンビーク出発開始(517まで48名全員が現地に到着)
- 5月14日 国連モサンビーク活動司令部要員モサンビーク出発
- 6月1日 政府専用機B-74の本格運航に伴い、特別航空輸送隊を新編
- 1994(平成6) 7月12日 北海道南西沖地震災害に対する災害派遣(812)
- 1994(平成6) 3月24日 航空自衛隊初の女子航空学生入隊
- 1995(平成7) 1月17日 阪神・淡路大震災に伴う災害派遣(427)
- 6月5日 自衛隊機と韓国軍機との間の偶発事故の防止についての書簡を日韓防衛当局間で相互に発出
- 12月14日 「次期支援戦闘機の整備」について「安全保障会議決定」(1215閣議了解)
- 1996(平成8) 1月31日 国連兵力引き離し監視視察(UNDOF)へ自衛隊の部隊等を派遣
- 1997(平成9) 1月22日 ロシア船がホルカ島海難・重油流出災害に係る災害派遣(331)
- 1998(平成10) 1月22日 海上自衛隊自衛官制度導入
- 1998(平成10) 7月29日 海上自衛隊・航空自衛隊(ロシア)海軍との捜索救難共同訓練(初の本格的日露共同訓練)
- 8月13日 北朝鮮「日本上空を越える」ミサイル発射実施
- 11月15日 ホンジュラスの国際緊急援助隊に自衛隊の派遣決定、空自派遣部隊は、陸上自衛隊の装備品等の輸送のため小牧出發
- 11月15日 硫黄島にて3自衛隊初の統合演習(2400人規模)
- 12月25日 「弾道ミサイル防衛に係る日米共同技術研究」について「安全保障会議」議了承
- 1999(平成11) 8月16日 「弾道ミサイル防衛(BMD)に係る日米共同技術研究に関する日米政府間の交換公文及び覚書署名
- 9月30日 東海村プラン加工施設における事故に係る災害派遣(103)
- 11月22日 東ティモール避難民救援のため、インドネシアに自衛隊を派遣(0028)
- 2000(平成12) 5月8日 防衛庁、市ヶ谷庁舎へ移転
- 6月16日 原子力災害特別措置法(原子力災害派遣の創設)施行
- 2001(平成13) 2月5日 「えひめ丸」引揚げ協力のための潜水艦救難艦「ちよは」に関する災害派遣(1216船港)
- 8月8日 「えひめ丸」引揚げ協力のための潜水艦救難艦「ちよは」に関する災害派遣(1216船港)
- 10月6日 アフガニスタン難民救援国際平和協力業務実施(1012)
- 11月29日 「アフガニスタン難民救援国際平和協力業務実施」(1012)基地間の国内空輸を開始
- 12月3日 同法に基づき、協力支援活動として、空自がアフガニスタン方面の国外輸送を開始
- 12月14日 「空中給油・輸送機の機種選定」について「安全保障会議」議了承
- 2002(平成14) 3月27日 予備自衛官制度導入
- 6月11日 情報公開請求者リスト事業で調査報告書公表
- 11月18日 初の北海道における自衛隊と警察の共同図上訓練
- 12月2日 国連PKO局に自衛官派遣
- 2003(平成15) 3月30日 「アフガニスタン難民救援国際平和協力業務実施」(アフガニスタン難民救援空輸隊、42)に帰着
- 4月21日 航空自衛隊による空中給油訓練(451)
- 7月17日 「アフガニスタン難民救援国際平和協力業務の実施」(アフガニスタン難民救援空輸隊、818給員帰国)
- 9月11日 メモリアルソング完成披露
- 11月3日 元自衛官に危険業務従事者叙勲
- 11月15日 自衛隊の専門調査団をイラクに派遣
- 12月18日 防衛庁、イラク人道復興支援法に基づく実施要綱を策定
- 12月19日 弾道ミサイル防衛システムの導入、政府決定
- 12月26日 「安全保障会議」閣議決定
- 12月30日 航空自衛隊先遣隊要員、クワートへ出発
- 2004(平成16) 1月4日 イラン大地震に際し、国際緊急援助法に基づく援助物資の空輸(0411112)
- 4月9日 航空自衛隊50周年記念式典
- 4月15日 初の在外邦人等輸送として、イラクからクワートへ邦人10名を輸送
- 9月8日 防衛庁、自衛隊50周年記念式典(1221)
- 10月23日 新潟県中越地震に伴う災害派遣(122)
- 2005(平成17) 1月4日 インドネシア・スマタラ島沖大規模地震及びインド洋津波被害に際して、自衛隊部隊を派遣(323帰国完了)
- 5月2日 自衛隊、多国間共同訓練「コブラ・ゴルド」に初め正式参加(タイ・チリマイ、513)
- 10月12日 パキスタン等大地震被害に際して、国際緊急援助活動のため、パキスタンへ自衛隊部隊を派遣(122帰国完了)
- 12月24日 「弾道ミサイル防衛用能力向上型迎撃ミサイルに関する日米共同開発」について「安全保障会議及び閣議決定」
- 2006(平成18) 3月27日 防衛庁設置法等の一部改正法(弾道ミサイル等に対する破壊措置を規定、統合幕僚監部発足、自衛隊は統合運用体制に移行)施行
- 6月1日 インドネシア・ジャワ島中部地震に際し、国際緊急援助活動のため、自衛隊部隊を派遣(622)
- 6月20日 政府、陸自イラク派遣部隊の活動終結決定。空自部隊は国連及び多国間軍への支援継続
- 2007(平成19) 3月23日 弾道ミサイル等に対する破壊措置に関する緊急対処要領作成
- 3月30日 空自入間基地に初のペトリオットPAC-3配備 国連パナル政治(入間基地)に初のペトリオットPAC-3配備 国連パナル政治(入間基地)に初のペトリオットPAC-3配備
- 12月23日 イラク復興支援法に基づき、空自派遣輸送航空隊帰国
- 2009(平成21) 空自F-15(百里)、沖縄配備
- 1月28日 ソマリ沖、ソマリ湾における海賊対処のため準備命令発出
- 2月10日 イラク復興支援法に基づき、空自派遣輸送航空隊帰国
- 3月13日 ソマリ沖、ソマリ湾における海賊対処のため、海上における警備行動に関する自衛隊活動命令発令
- 9月20日 大津波津波における漂流木の回収に係る災害派遣(102)
- 10月5日 インドネシア・パタラ沖地震に際し、国際緊急援助活動として自衛隊部隊を派遣(1017)
- 2010(平成22) 1月18日 ハイチにおける大地震に際し、国際緊急援助活動としてC-130HによるJICA国際緊急援助隊医療チーム及びハイチ被災民の空輸の実施を決定
- 2月5日 次期輸送機X-C2初飛行(岐阜)
- 2月24日 国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)へ自衛隊部隊派遣決定(26展開始)
- 2月28日 第2高射群第8高射隊(高良島)にペトリオットPAC-3配備
- 3月11日 チリ沖地震に関する対応実施
- 3月16日 航空自衛隊第1補給処事務用品検査事業調査・検討委員会設置
- 4月26日 航空自衛隊百里基地 滑走路民共用開始
- 8月31日 第2高射群第6高射隊(高良島)にペトリオットPAC-3配備
- 9月10日 パキスタンにおける洪水に際し、ペトリオットPAC-3による空輸活動を実施(1010)
- 10月22日 国連東ティモール統合ミッション(UNTMIT)へ軍事連絡要員(軍事監視要員)として自衛官派遣を閣議決定(927派遣)
- 10月22日 鹿兒島県奄美大島において大雨に係る災害派遣(1031)
- 12月14日 第8回空自第1補給処事務用品検査事業調査・検討委員会、航空自衛隊第1補給処におけるオフィス家具等の調達に係る談合事業に関する調査報告書公表
- 2011(平成23) 1月24日 宮崎県において発生した鳥インフルエンザに係る災害派遣(233)
- 2月23日 ニュージーランドで発生した地震に対し、国際緊急援助隊派遣(233)
- 3月11日 東日本大震災に係る大規模地震災害派遣(831)
- 3月16日 東日本大震災に伴う予備自衛官、即応予備自衛官に対する初の災害招集等に関する閣議決定
- 4月15日 海自及び空自の予備自衛官に対する災害招集命令(831)
- 4月15日 ジンブ自衛隊活動拠点の運用を開始
- 11月15日 国連南スーダン共和国(UNMISS)へ自衛隊要員として自衛官派遣を閣議決定(1128出国) ガナP.K.O.センター講師として自衛官派遣(1120)
- 12月20日 「次期戦闘機の整備」について「安全保障会議決定」閣議了解
- 1月24日 国連南スーダン共和国(UNMISS)へ施設部隊等の派遣を閣議決定(1211展開開始)
- 2012(平成24) 1月11日 UNMISS先遣隊出国
- 3月26日 航空自衛隊航空総隊司令部、横田移転
- 4月17日 国連東ティモール統合ミッション(UNTMIT)へのわが国の派遣期間を10か月(1328延長)
- 7月3日 九州北部豪雨に係る災害派遣(172)
- 8月7日 中東・ゴラン高原に原連兵力を引き離し隊(UNDOF)への自衛隊派遣期間を半年間(1331延長)
- 9月23日 国連東ティモール統合ミッション(UNTMIT)への自衛官派遣終了
- 10月16日 国連南スーダン共和国(UNMISS)への自衛隊派遣期間を1年間(131031延長)
- 12月4日 東ティモールにおける能力構築支援事業を開始
- 12月18日 国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)への自衛隊派遣期間を2か月間(1331延長)
- 2013(平成25) 1月20日 国連兵力引き離し監視視察(UNDOF)への自衛隊部隊等の派遣終了(隊旗返還式)
- 1月22日 在外邦人等輸送として、アルジェリア邦人拘束事件被害者等をアルジェリアからわが国に輸送(124帰国)
- 1月24日 カンボジアにおける能力構築支援事業を開始
- 2月1日 自衛隊法等の一部改正法(航空支援事業)施行
- 2月20日 那覇地裁、辺野古環境影響評価の直訴判決
- 3月1日 F-35の製造等に係る国内企業の参画についての内閣官房長官談話発表
- 3月15日 国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)への自衛隊部隊等の派遣終了(隊旗返還式)
- 3月26日 航空救護団(航空支援連隊)から航空総隊の直轄部隊に移転
- 8月1日 航空総隊戦術官の新設
- 9月9日 東シナ海で国籍不明の無人機(推定)の飛行を確認
- 11月13日 フリビエ国際緊急援助活動に伴う航空輸送(1120)
- 2014(平成26年) 2月28日 千歳基地に基地防空用地対空誘導弾初発射配備
- 3月12日 マレーシア国際緊急援助活動に伴う航空機派遣(325帰国)
- 3月26日 航空機動衛生隊の航空支援集団への隷属替え
- 3月26日 作戦システム運用隊の新編